

# サービス資料

IC-800B-R

IC-800F-L

IC-80BE7-R

MX-H8000B-R

(テーブルコンロ)

## < 目 次 >

■仕様 .....	1
■外観図 .....	2
■構造図 .....	3
■作動原理 .....	4
■作動フロー .....	10
■結線図 .....	12
■診断ポイント .....	13
■部品表・分解図 .....	14
■取扱説明書	

この資料の内容は、改良の為に知らせせずに変更することがあります。

平成 24 年 7 月現在

株式会社 パロマ

S-24-029

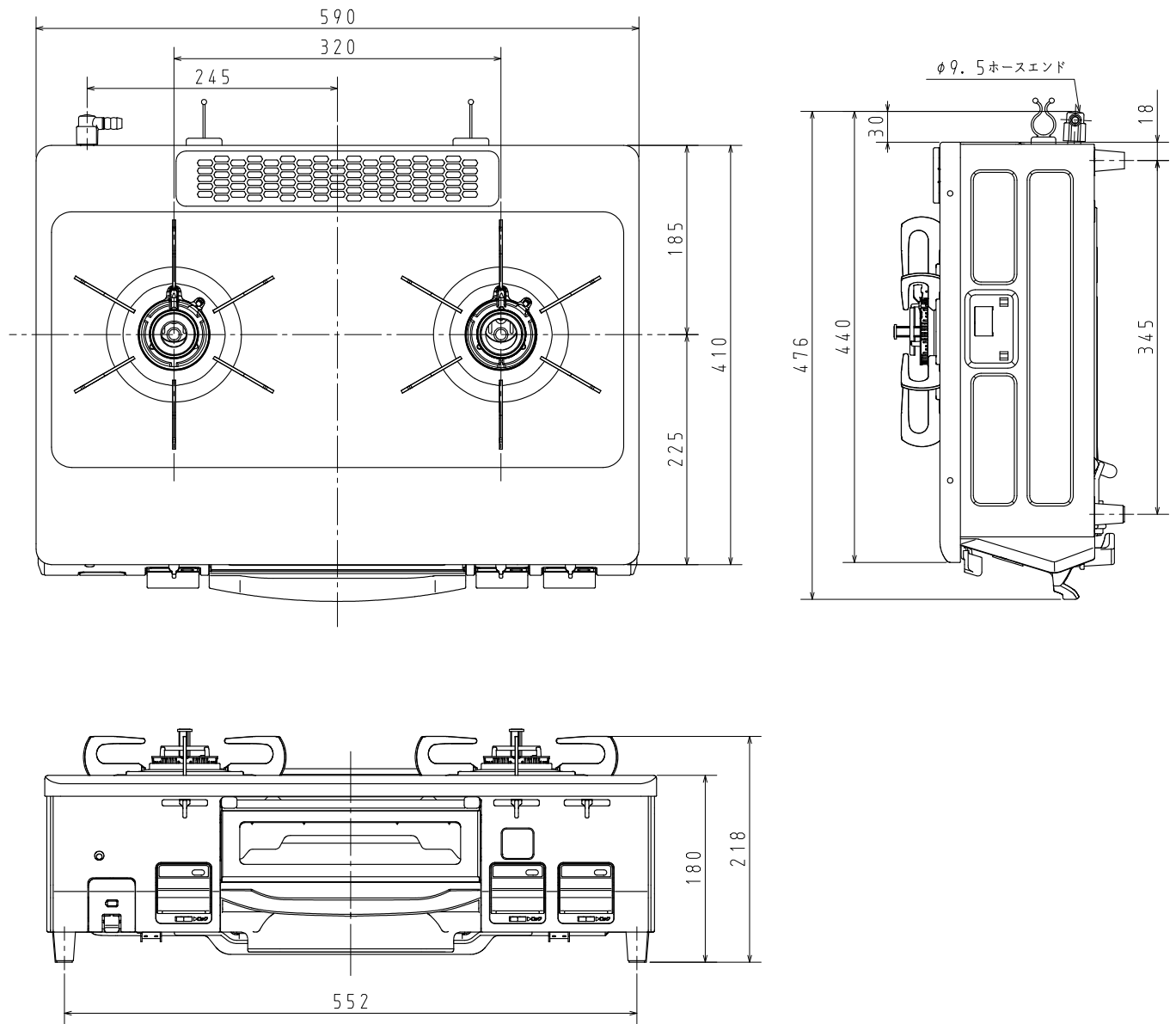
## ■ 仕様

品名		IC-800B-R・IC-800F-L・IC-80BE7-R・MX-H8000B-R		
器具名		IC-800B-R・IC-800F-L・IC-80BE7-R・IC-800B-1R・IC-800F-1L・ IC-80BE7-1R MX-H8000B-1R		
型式名		E1-2-20		
本体(最大)寸法(mm) 高さ×幅×奥行		218×590×476		
質量(kg)		10.4		
ガス消費量(kW)	ガスの種類	12A	13A	LP
	全点火時	8.29	8.90	8.40
	強火力バーナ	3.93	4.20	4.20
	標準バーナ	2.75	2.95	2.95
	グリル	1.63	1.74	1.74
ガス接続		φ9.5mm ガス用ゴム管		
電源		DC3.0V		
安全装置		立消え安全装置、調理油過熱防止装置(天ぷら油過熱防止機能) 焦げつき消火機能、消し忘れ消火機能、グリル排気口遮炎装置		

〔トッププレートについて〕

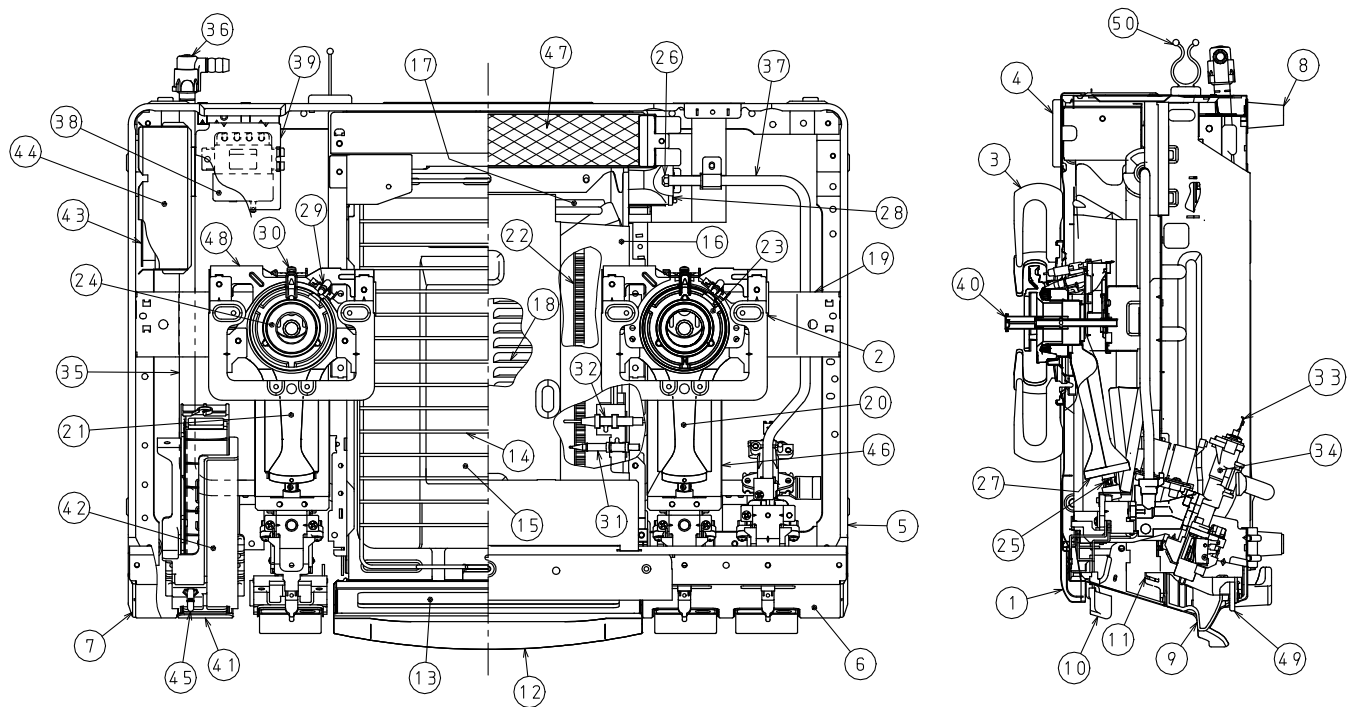
- ・ IC-800B-R : ホーロートップ (ブラック)
- ・ IC-800F-L : フッ素トップ (シルバー)
- ・ IC-80BE7-R : ホーロートップ (ブラック) エディオン向け
- ・ MX-H8000B-R : ホーロートップ (ブラック) ミスターマックス向け

## ■ 外観図



(単位：mm)

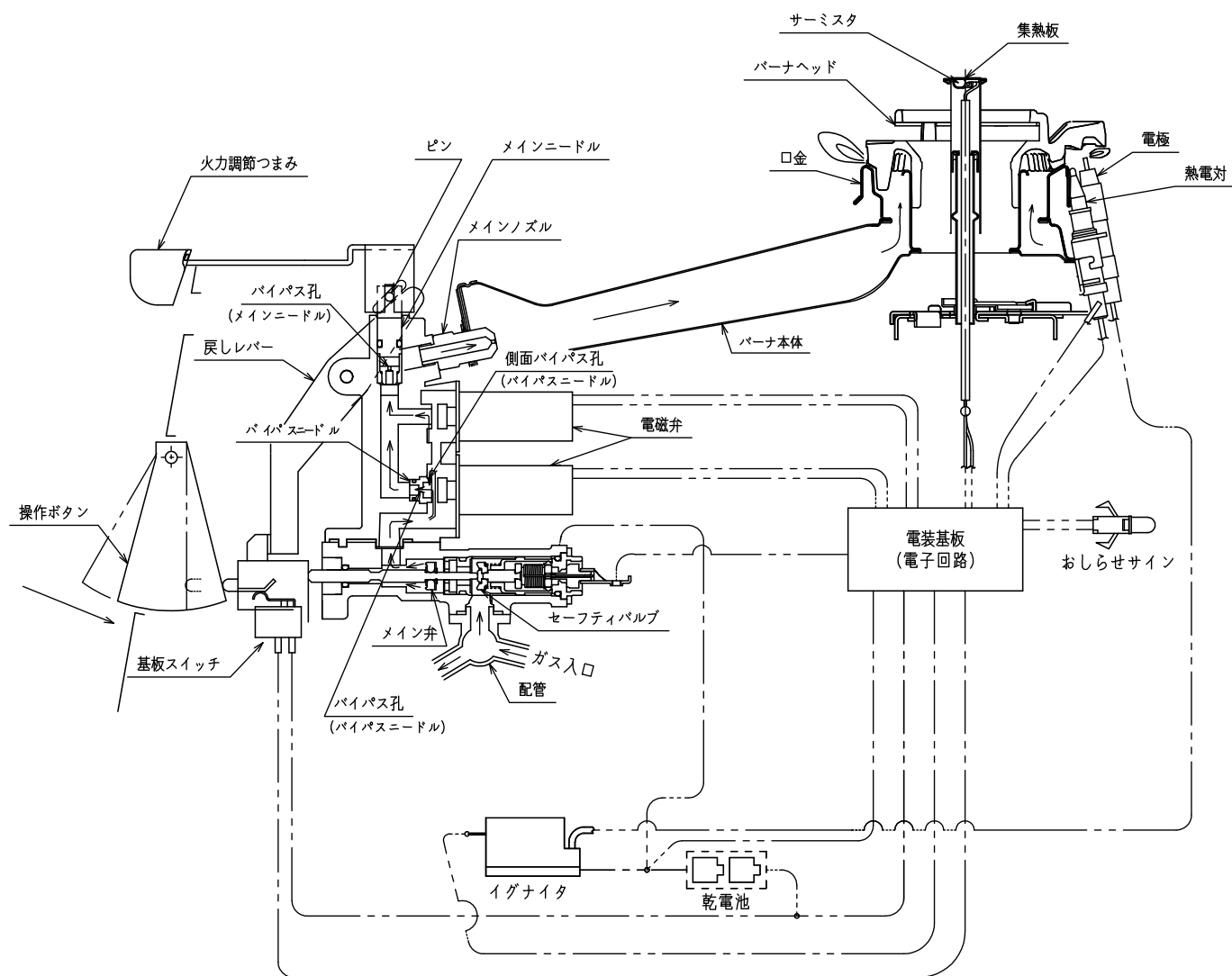
## ■ 構造図



NO	品 名	NO	品 名	NO	品 名	NO	品 名	NO	品 名	NO	品 名
1	トッププレート	11	ボタン軸支え	21	標準コンロバーナ	31	グリル熱電対	41	乾電池ケース組立	51	
2	TP支え	12	グリル取手	22	グリルバーナ	32	グリル電極	42	乾電池ボックス組立	52	
3	五徳	13	ガラス	23	強火力コンロバーナヘッド	33	セーフティバルブ	43	電装基板	53	
4	グリル排気口カバー	14	焼網	24	標準コンロバーナヘッド	34	器具せん	44	電装カバー	54	
5	ベース	15	グリル水受皿	25	コンロメインノズル	35	メインパイプ	45	おしらせサイン	55	
6	ベース前板	16	グリル遮熱板上	26	グリルメインノズル	36	ホースエンド	46	煮こぼれカバー	56	
7	モール	17	グリルフード	27	コンロダンパ	37	グリルパイプ	47	フレームトラップ (遮炎板)	57	
8	脚	18	熱板	28	グリルダンパ	38	イグナイター	48	TC電極取付	58	
9	操作ボタン	19	バーナ台/バーナ取付	29	コンロ熱電対	39	イグナイター取付	49	ロックツマミ	59	
10	火力調節ツマミ	20	強火力コンロバーナ	30	コンロ電極	40	サーミスタ組立	50	キャップ	60	

## ■ 作動原理

強火力こんろ部



## 作動順序

### 〔点火操作〕

1. 操作ボタンをいっばいに押しますと、メイン弁、セーフティバルブが開き、イグナイタが作動して着火します。又、同時に電子回路に基板スイッチからの信号が入力されます。この時一定時間セーフティバルブは吸着、電極は放電します。  
又、カラーサインは黒色より赤色に変化します。
2. 操作ボタンを離すとメイン弁は開状態のままで、熱電対が炎を感知し、電子回路を通して乾電池からセーフティバルブに通電され、セーフティバルブは燃焼状態を保持します。カラーサインは赤色のままで、燃焼を示します。又、同時に電子回路内のタイマがカウントを始めます。

### 〔消火操作〕

操作ボタンを再度押しますと、ロックが外れ、メイン弁が閉じ消火します。又、基板スイッチがOFFして乾電池からセーフティバルブへの通電がストップされセーフティバルブは閉じます。カラーサインは黒色に戻り消火を示します。

### 〔火力調節〕

1. 火力調節つまみを左右に動かしますと、メインニードルが移動してガス通路を調節し、無段階に火力をコントロールします。尚、最小流量はメインニードルのバイパス孔にて確保します。
2. 火力調節つまみが「弱」又は「強」の状態点火操作しますと、戻しレバーが火力調節つまみを中方向に動かし「中」状態で点火します。

### 〔自動火力切替〕

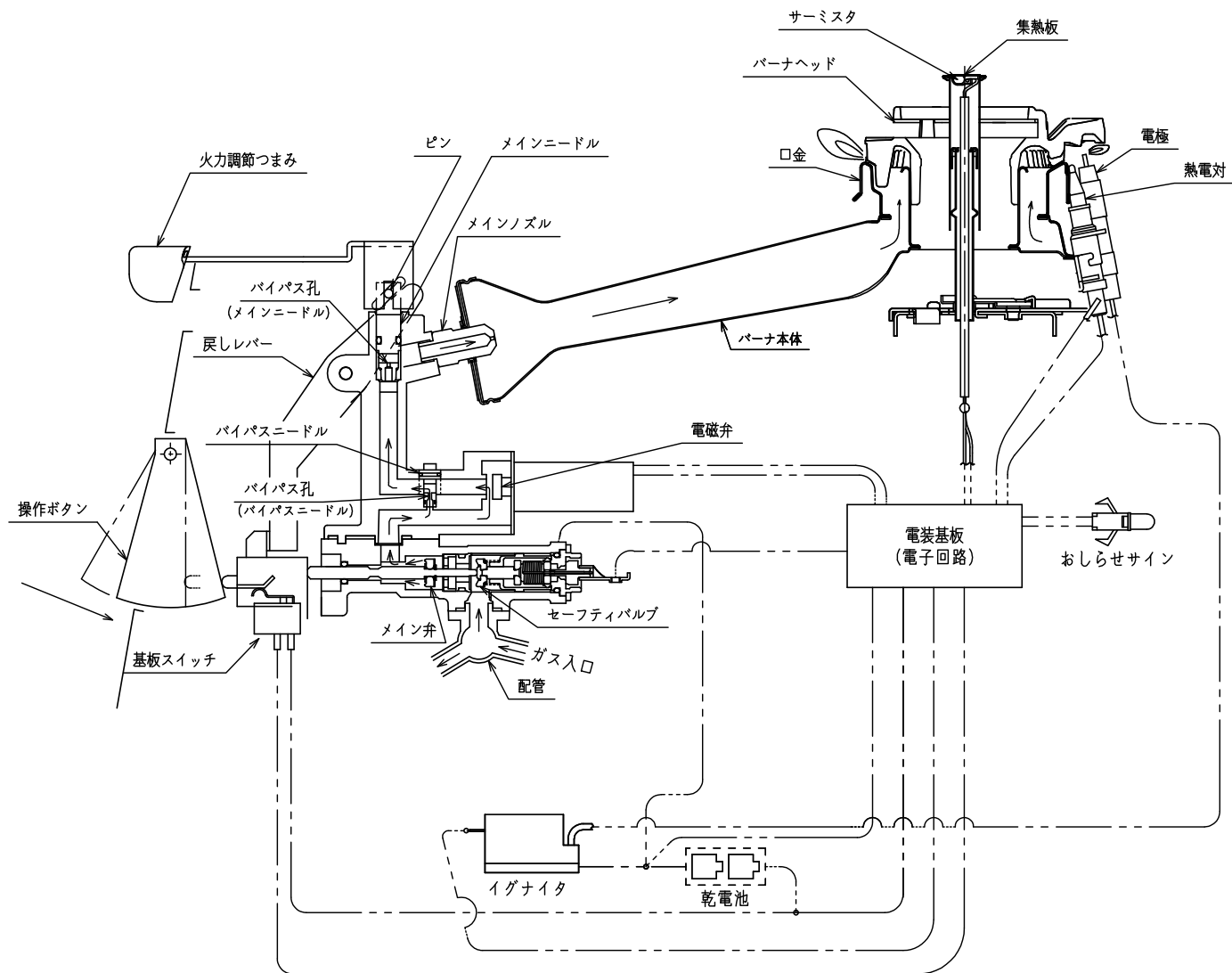
1. バーナ中央部にサーミスタを設け、鍋底の温度を測定します。電子回路内に設定された抵抗値とサーミスタの抵抗値とを比較し、鍋底の温度が設定温まで上昇したと判定された場合、乾電池から2つの電磁弁へ順次、離脱（閉弁）方向に一時的に通電され、2つの弁が閉じてバイパスニードルの側面バイパス孔のみの通路となり、火力が弱になります。
2. 又、設定温度以下まで下がったと判定された場合には2つの電磁弁へ順次、吸着（開弁）方向に一時的に通電し、弁が開き火力が強になります。  
（上記通電終了後も開弁状態を保持します。）

### 〔自動消火〕

1. サーミスタにより 鍋底の温度が消火設定温まで上昇したと判断された時、乾電池からセーフティバルブへの通電がストップされ、自動的に消火します。
2. 電子回路内のタイマが2時間又は設定時間を経過すると、セーフティバルブへの通電がストップされ、自動的に消火します。
3. 自動で火力が強弱した場合は、最初に弱に切り替わってから高温状態のまま30分又は設定時間を経過すると自動的に消火します。

尚、〔自動消火〕1～3にて自動消火した場合にはおしらせサインが点滅します。

# 標準こんろ部



## 作動順序

### 〔点火操作〕

1. 操作ボタンをいっばいに押しますと、メイン弁、セーフティバルブが開き、イグナイタが作動して着火します。又、同時に電子回路に基板スイッチからの信号が入力されます。この時一定時間セーフティバルブは吸着、電極は放電します。  
又、カラーサインは黒色より赤色に変化します。
2. 操作ボタンを離すとメイン弁は開状態のままで、熱電対が炎を感知し、電子回路を通して乾電池からセーフティバルブに通電され、セーフティバルブは燃焼状態を保持します。カラーサインは赤色のままで、燃焼を示します。又、同時に電子回路内のタイマがカウントを始めます。

### 〔消火操作〕

操作ボタンを再度押しますと、ロックが外れ、メイン弁が閉じ消火します。又、基板スイッチがOFFして乾電池からセーフティバルブへの通電がストップされセーフティバルブは閉じます。カラーサインは黒色に戻り消火を示します。

### 〔火力調節〕

1. 火力調節つまみを左右に動かしますと、メインニードルが移動してガス通路を調節し、無段階に火力をコントロールします。尚、最小流量はメインニードルのバイパス孔にて確保します。
2. 火力調節つまみが『弱』の状態ですと点火操作しますと、戻しレバーが火力調節つまみを強方向に動かし『中～強』で点火します。

### 〔自動火力切替〕

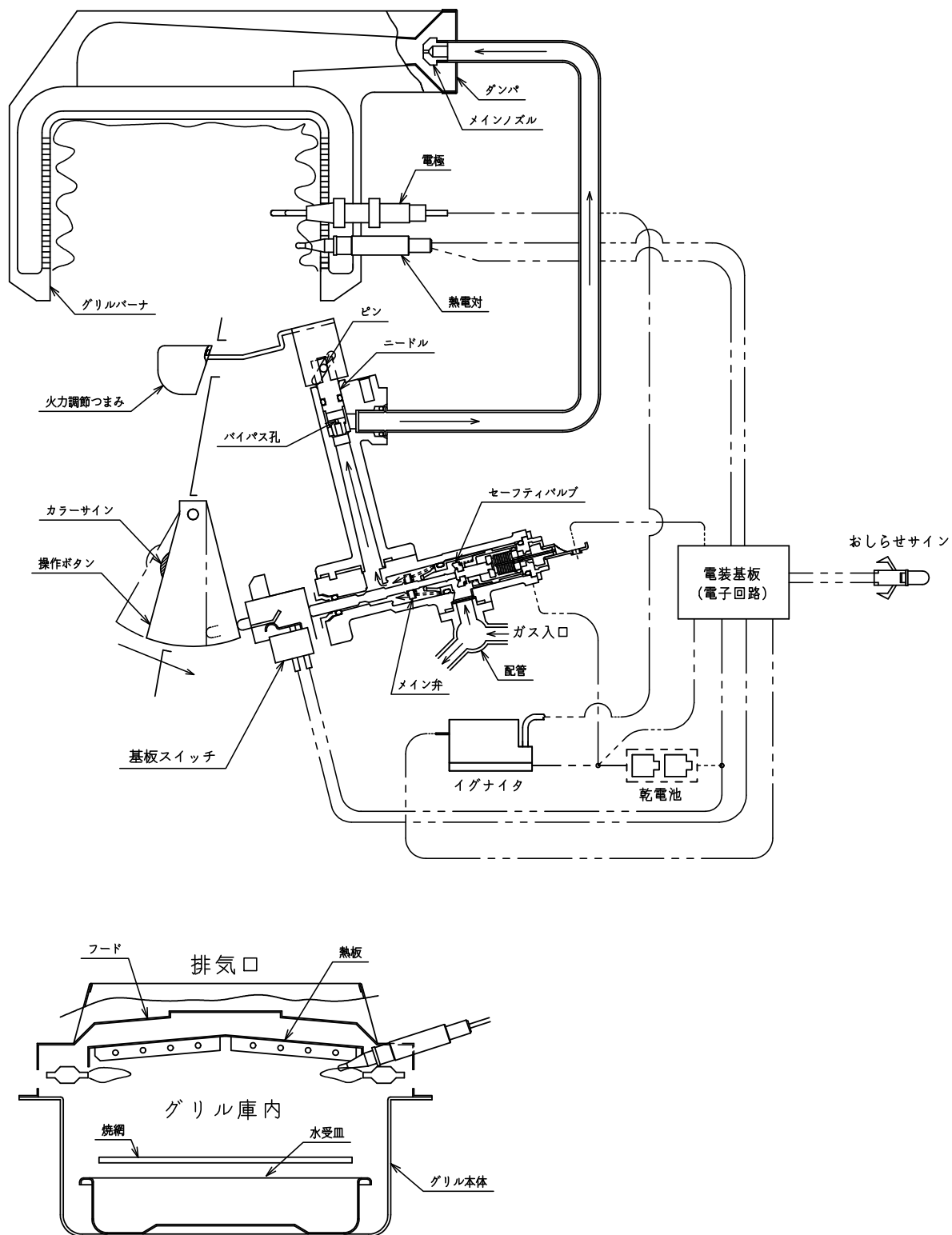
1. バーナ中央部にサーミスタを設け、鍋底の温度を測定します。電子回路内に設定された抵抗値とサーミスタの抵抗値とを比較し、鍋底の温度が設定温まで上昇したと判定された場合、乾電池から電磁弁へ離脱（閉弁）方向に一時的に通電され、弁が閉じてバイパスニードルのバイパス孔のみの通路となり、火力が弱になります。
2. 又、鍋底の温度が、設定温度以下まで下がったと判定された場合、電磁弁へ吸着（開弁）方向に一時的に通電し、弁が開き火力が強になります。  
（上記通電終了後も開弁状態を保持します）

### 〔自動消火〕

1. サーミスタにより 鍋底の温度が消火設定温まで上昇したと判断された時、乾電池からセーフティバルブへの通電がストップされ、自動的に消火します。
2. 電子回路内のタイマが2時間又は設定時間を経過すると、セーフティバルブへの通電がストップされ、自動的に消火します。
3. 自動で火力が強弱した場合は、最初に弱に切り替わってから高温状態のまま30分又は設定時間を経過すると自動的に消火します。

尚、〔自動消火〕1～3にて自動消火した場合にはおしらせサインが点滅します。

## グリル部



## 作動順序

### 〔点火操作〕

1. 操作ボタンをいっばいに押しますと、メイン弁、セーフティバルブが開き、イグナイタが作動して着火します。又、同時に電子回路に基板スイッチからの信号が入力されます。この時一定時間セーフティバルブは吸着、電極は放電します。  
又、カラーサインは黒色より赤色に変化します。
2. 操作ボタンを離すと、メイン弁は開状態のままで熱電対が炎を検知し、一定時間後も電子回路を介して乾電池からセーフティバルブに通電され、セーフティバルブは燃焼状態（開状態）を保持します。カラーサインは赤色のままで、燃焼を示します。又、同時に電子回路内のタイマがカウントを始めます。

### 〔消火操作〕

操作ボタンを再度押しますと、ロックが外れ、メイン弁が閉じ消火します。又、基板スイッチがOFFして乾電池からセーフティバルブへの通電がストップすることにより、セーフティバルブも閉じます。カラーサインは黒色に戻り、消火位置を示します。

### 〔火力調節〕

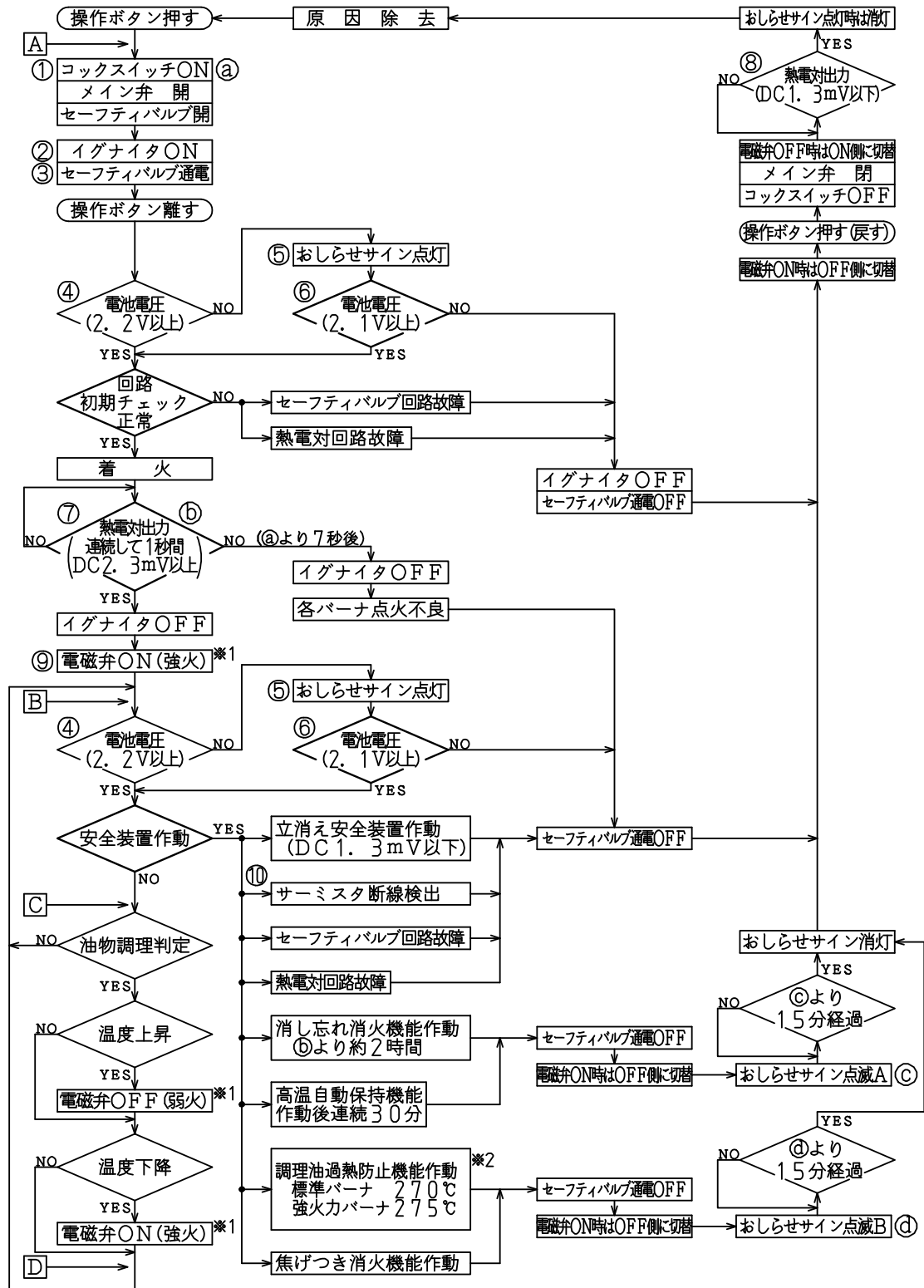
火力調節つまみを左右に動かしますと、ニードルが移動してガス通路を調節し、無段階に火力をコントロールします。尚、最小流量はニードルのバイパス孔にて確保します。

### 〔自動消火〕

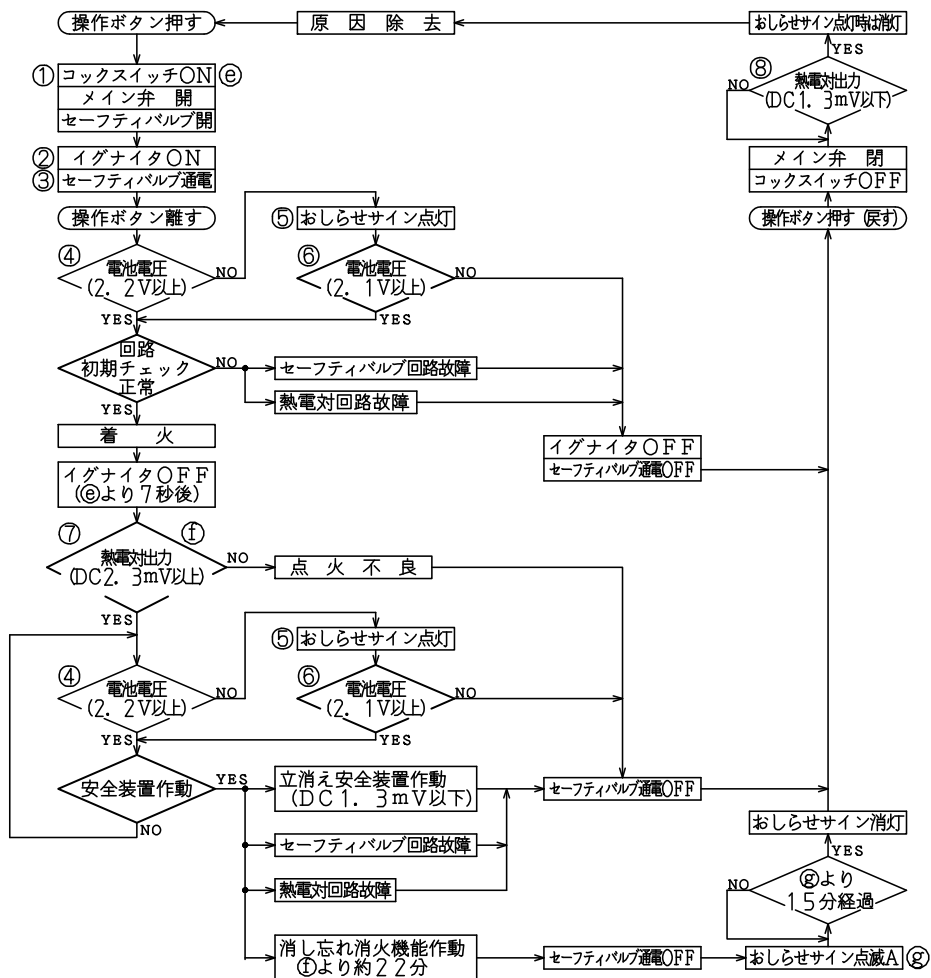
電子回路内のタイマが設定時間（22分）を経過すると、セーフティバルブへの通電がストップし、自動的に消火します。この時おしらせサインが点滅します。

## ■ 作動フロー

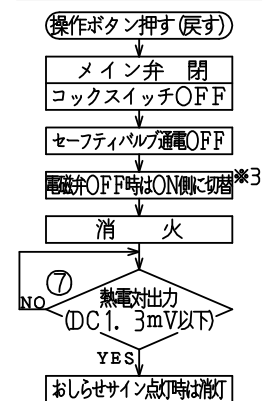
＜コンロバーナ運転＞  
標準、強火力バーナ



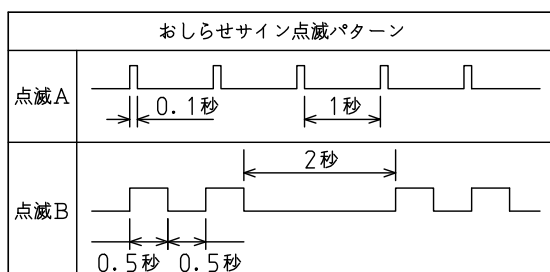
## ＜グリルバーナ運転＞



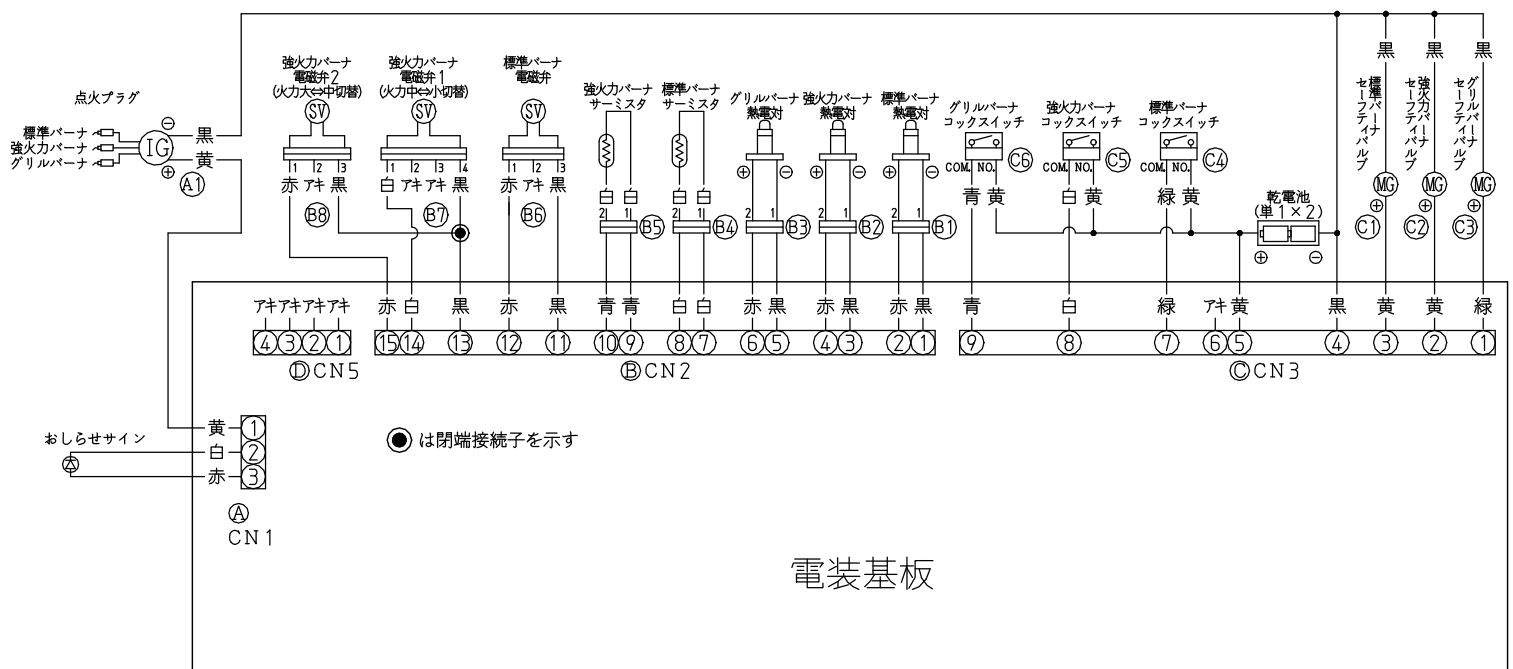
## ＜バーナ停止＞ 標準、強火力、グリルバーナ



- ※1) 強火力バーナは電磁弁2段切替 (火力大→中→小または小→中→大)  
 ※2) 標準バーナは点火後2分間は280℃にて検知  
 ※3) 標準、強火力バーナのみ



## ■ 結線図



## ■診断ポイント

フロー NO.	測定箇所 CN	線色・線番	判定 (正常値)	上段 電圧 下段 抵抗	部位 (部品名称)
①	④	緑-黄 COM. NO.	DC 1V以下 1Ω以下 (乾電池を抜いて測定)		コックスイッチ (標準バーナ)
	⑤	白-黄 COM. NO.			コックスイッチ (強火力バーナ)
	⑥	青-黄 COM. NO.			コックスイッチ (グリルバーナ)
②	①	黄-黒 ⊕ ⊖	DC 2. 1V以上		イグナイタ
③	①	黄-黒 ⊕ ⊖	DC 0. 6~1. 8V 295~395Ω (丸端子を外して測定)		セーフティバルブ (標準バーナ)
	②	黄-黒 ⊕ ⊖			セーフティバルブ (強火力バーナ)
	③	緑-黒 ⊕ ⊖			セーフティバルブ (グリルバーナ)
④	①	黄-黒 5-4	DC 2. 2V以上		電池電圧
⑤	①	赤-白 3-2	DC 0. 3V以上		おしらせサイン
⑥	①	黄-黒 5-4	DC 2. 1V以上		電池電圧
⑦	①	銀-黄 2-1	DC 2. 3mV以上		熱電対 (標準バーナ)
	②	銀-黄 2-1			熱電対 (強火力バーナ)
	③	赤-黒 2-1			熱電対 (グリルバーナ)
⑧	①	銀-黄 2-1	DC 1. 3mV以下		熱電対 (標準バーナ)
	②	銀-黄 2-1			熱電対 (強火力バーナ)
	③	赤-黒 2-1			熱電対 (グリルバーナ)
⑨	⑥	黒-赤 3-1	11~18Ω (コネクタを抜いて、 電磁弁側のピンで測定)		電磁弁 (標準バーナ)
	⑦	黒-白 4-1			電磁弁 (強火力バーナ)
	⑧	黒-赤 3-1			
⑩	④	白-白 2-1	20℃・・・ 60~100kΩ 160℃・・・ 700~850Ω 280℃・・・ 80~90Ω (中継コネクタを抜いて測定)		サーミスタ (標準バーナ)
	⑤	白-白 2-1			サーミスタ (強火力バーナ)

## 部品表・分解図

### 部品表

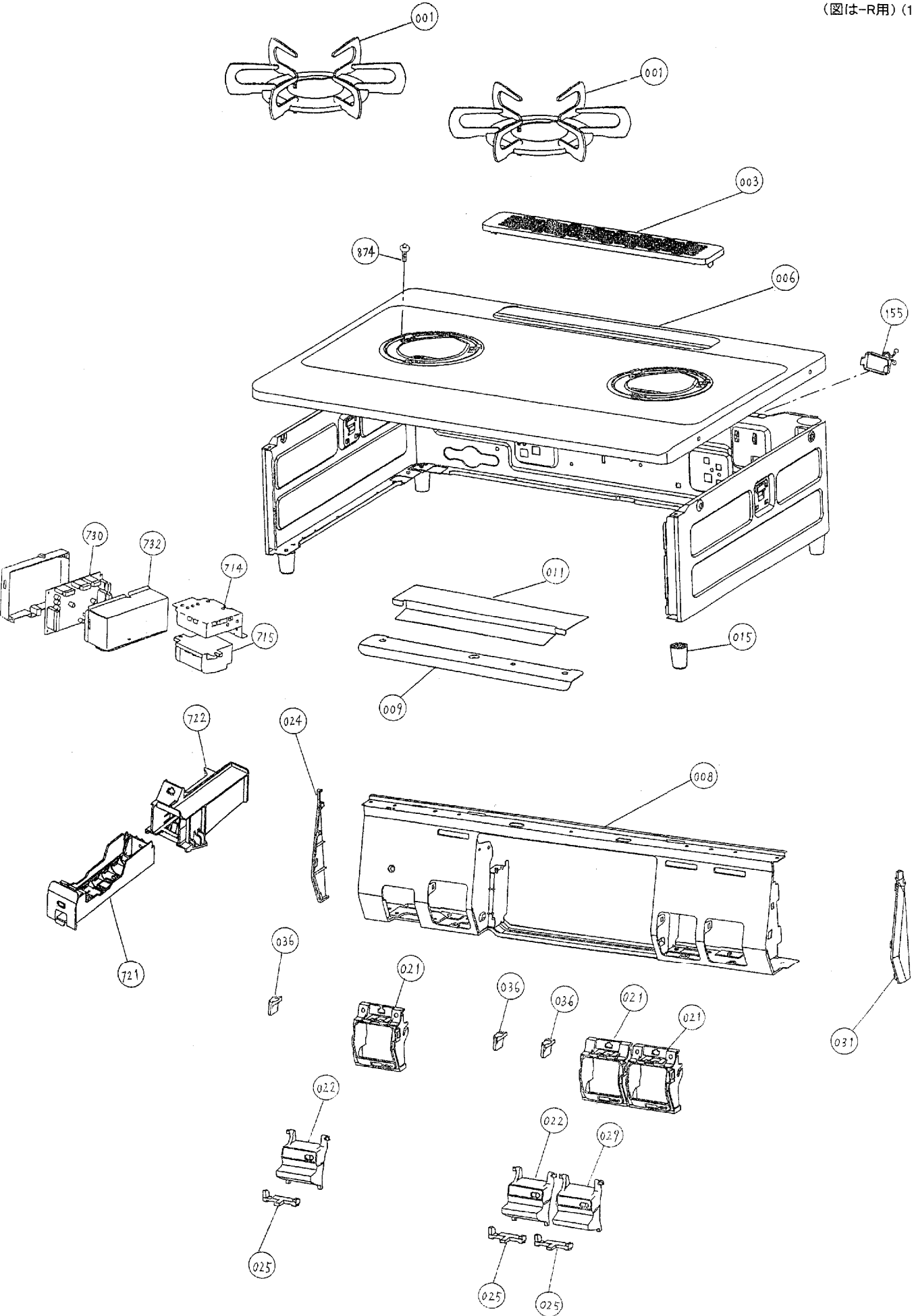
No	部品名称	備考
1	ゴトククミタテ G-79	
3	グリルハイキコウカバー	
6	トッププレートクミタテ	
8	ベースマエイタクミタテ	
9	ベースマエイタカバー	
10	TP ササエ	ウチキリ
11	シャネツハンウエカバー	
15	アシセット(4)	
18	グリルウシロイタ	
21	ホ`タンジクササエ	
22	テンカホ`タンクミタテ	
24	サイド`モール L	
25	ロックイタ	
29	テンカホ`タンクミタテ	
31	サイド`モール R	
36	チョウセツツマミ	
40	グリルホンタイ	
57	トツテクミタテ	
58	ミス`ウケ(ハコツ`メ)	
59	ヤキアミクミタテ	
60	フード`ネツイタクミタテ	
62	ネツハン	
66	ハ`ーナダイ R クミタテ	ウチキリ
67	ハ`ーナダイ L クミタテ	ウチキリ
70	シャネツハンウエ	
71	ダ`クトマエ	
72	ダ`クトウシロ	
73	G マエイタセット	
74	フレームトラツプクミタテ	
100	ハ`ーナセット B-658	ガス種確認要

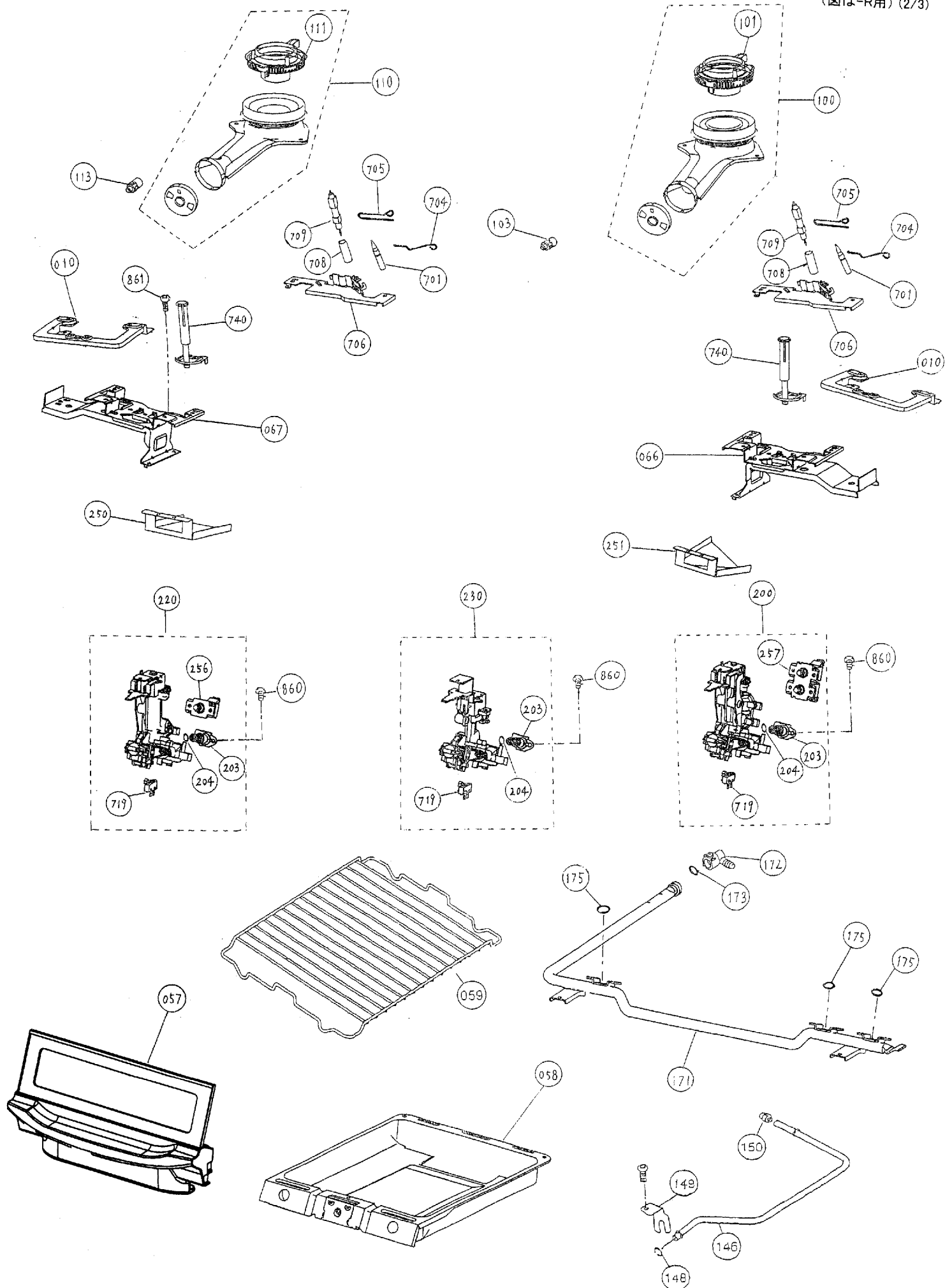
101	バーナキャップ H-178	
103	M ノズル	ガス種確認要
107	ネットンツイオサエハネ G	
110	バーナセット B-660	ガス種確認要
111	バーナキャップ H-177	
113	M ノズル	ガス種確認要
116	グリルバーナクミタテ	
117	ダンパキャップ	ガス種確認要
146	グリルパイプ	
148	O リング P-8 (5)	
149	イタナット	
150	ノズル グリルウエ 12A 0.7 °	ガス種確認要
155	キャップ B	
160	G バーナササエマエ	
161	グリルバーナトリツケヒタリ	
162	グリルバーナトリツケ	
163	パイプオサエ E	
171	メインパイプクミタテ	
172	ホースエンドセット	
173	O リング P-12.7 (5)	
175	パッキン(10)	
200	テンメツキソウクミタテセット	ガス種確認要
203	MG ソウクミタテ	
204	O リング P-10 (5)	
220	テンメツキソウクミタテセット	ガス種確認要
230	テンメツキソウクミタテ	ガス種確認要
250	デンジベンカバー	
251	デンジベンカバー R	
256	デンジベンクミタテセット	
257	W デンジベンクミタテセット	
701	ネットンツイソウクミタテ	
703	ネットンツイクミタテ	
704	TC オサエハネ	
705	デンキョクオサエハネ	
706	TC IG トリツケ	ウチキリ

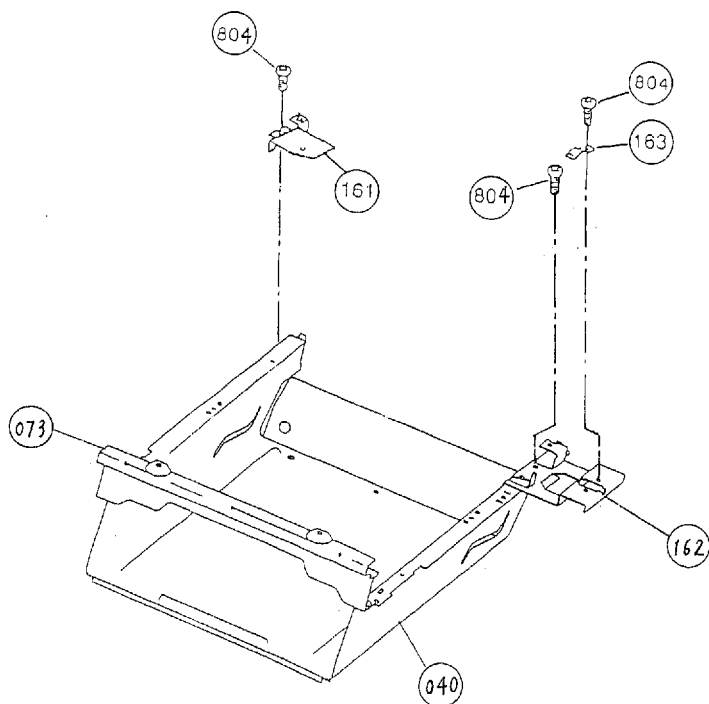
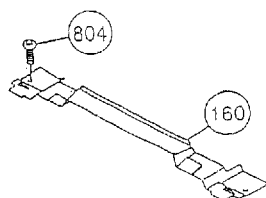
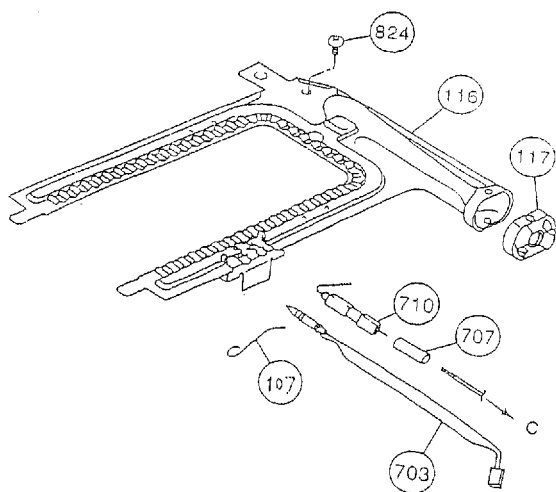
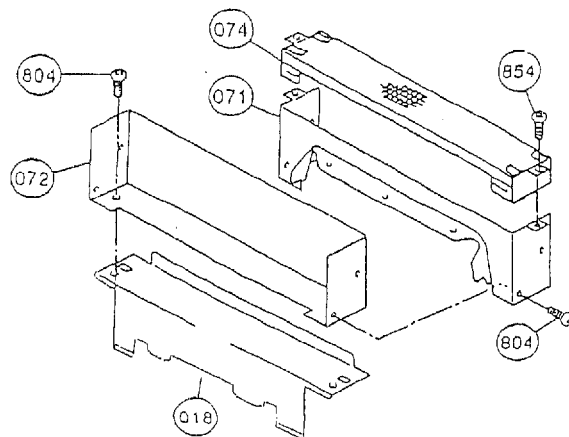
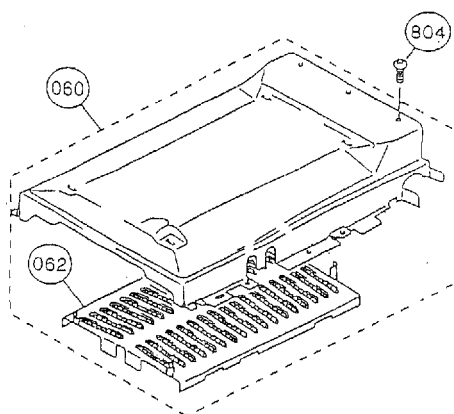
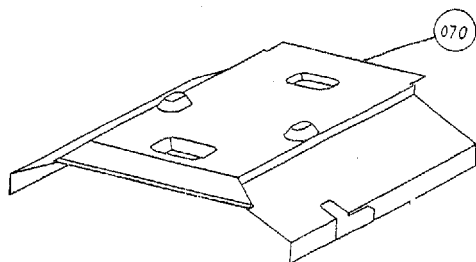
707	チューブ(3)	
708	チューブ(5)	
709	デンキョク R	
710	デンキョク	
712	ハイセンソウクミタテ R	
714	IGトリツケ MN377	
715	イグナイタクミタテ	
716	バーナダイ R セット	010.066.706 ラフクム
717	バーナダイ L セット	010.067.706 ラフクム
719	マイクロスイッチ	
721	デンチケースクミタテ	
722	デンチボックス	
730	キバンソウクミタテ	
732	バーコンカバー	
740	センサクミタテ	
804	ナベ FT 4*8 (10)	
824	トラス FT 4*8 (10)	
854	ナベ FT 4*8 (10)	
860	トクシュビス M3(5)	
861	ロック S タイト 4*8 (10)	トッププレートコティヨウ
874	ジュウジアナツキロックネジ(10)	
888	トリセツ	
890	59 ダンボール	ガス種確認要
892	IC-800B スチロール	
901	トリダシフオーク	
910	ネスミガード A	

分解図

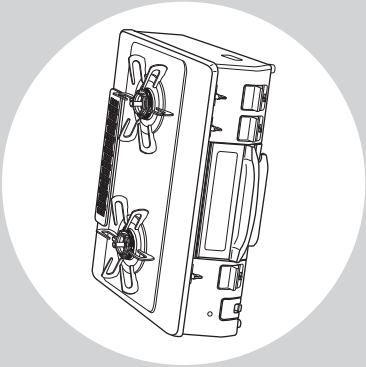
IC-800F-L  
IC-800B-R  
(図は-R用) (1/3)







全口センサー搭載  
Si センサーコンロ  
パロマガステーズル



取扱説明書

家庭用

このたびはガスステープルをお求めいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してください。また、この「取扱説明書」をいつまでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合はお近くの当社までお問い合わせください。

Paloma

品名：IC-800B-R  
IC-800FL  
IC-80BE7-R  
MX-H8000B-R

もくじ

各部のなまえ	1
特長	2
必ずお守りください	3
設置について	12
コンロの使いかた	16
グリルの使いかた	18
点検とお手入れ	20
乾電池の交換について	23
故障かな？と思ったら	23
安心・安全機能について	25
保管とアフターサービス	25
仕様	裏

保管とアフターサービス

■お客様にて取り替え可能な消耗部品のご案内

バーナキャップ、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

部品名	希望小売価格 (税抜価格)	部品名	希望小売価格 (税抜価格)
バーナキャップ (強火カコンロ用)	¥900	グリル排気口カバー	¥300
バーナキャップ (標準コンロ用)	¥900	焼網	¥900
ごとく	¥700	グリル水入れ皿	¥600

※2014年9月現在の価格です。価格・仕様については変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

■お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品のご購入について

お客様にて取り替え可能な消耗部品・別売部品は当社の純正部品以外は使用しないでください。ご購入は、お買い上げの販売店かお近くの当社サービスセンター、または当社ホームページ内公式部品販売サイト「パロマプラス」 (<https://www.paloma-plus.jp/>) にてお買い求めください。  
お買い求めの際は、必ず銘板の器具名をお知らせください。商品の発送には別途送料がかかります。

パロマの部品販売サイト  
**パロマプラス**



パロマ製品の消耗部品・別売部品をインターネット販売サイトよりご購入いただけます。  
<https://www.paloma-plus.jp/>

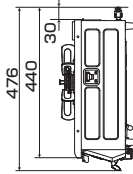
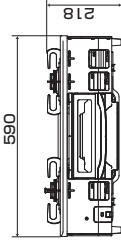
仕様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名	IC-800B-R・IC-800F-L・IC-80BE7-R・MX-H8000B-R
器具名	IC-800B-R・IC-800F-L・IC-80BE7-R・IC-800B-1R・IC-800F-1L IC-80BE7-1R・MX-H8000B-R・MX-H8000B-1R
型式名	E1-2-20
種類	ガスグリル付こんろ
点火方式	連続放電点火
外形寸法(機器最大)	高さ218×幅590×奥行476mm
質量(本体)	10.4kg
ガス接続	φ9.5mmガス用ゴム管
安心・安全機能	立消え安全装置・焦げつき消火機能・消し忘れ消火機能・ 調理油過熱防止装置(炭びら油過熱防止機能)・グリル排気口過火装置
付属部品	乾電池(単1形 1.5V (2個))・取扱説明書・保証書

使用ガス ガスグループ	ガス消費量 kW		
	標準バーナ	強火カバーナ	グリル
都市ガス用	12A 2.75	3.93	1.63
LPガス用	13A 2.95	4.20	1.74
LPガス用	2.95	4.20	1.74
LPガス用			8.40

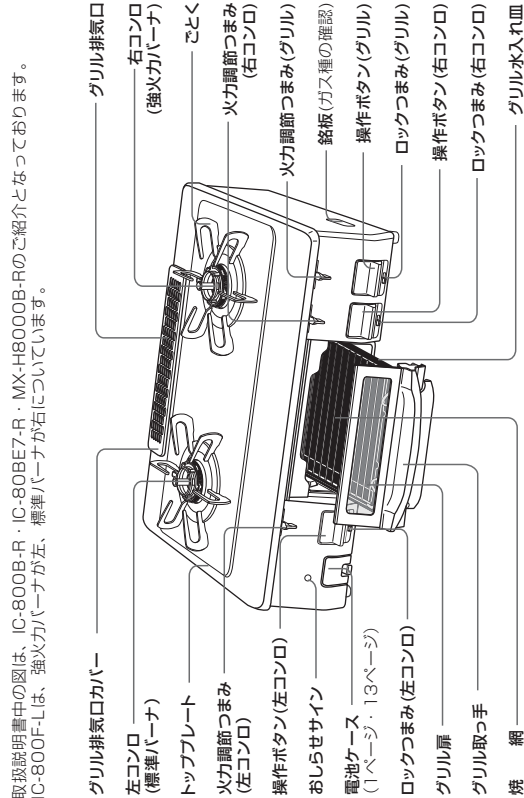
■外形寸法図 (単位:mm)



38731850010

28. 2. ⑩ H 38 73185

# 各部のなまえ



取扱説明書中の図は、IC-800B-R・IC-80BE7-R・MX-H800B-Rのご紹介となっております。  
IC-800FLは、強火カバーナが左、標準バーナが右についています。

# 特長

- 省エネルギー高効率コンロバーナ  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
従来のコンロに比べ、受け皿がなく、お手入れしやすいバーナです。また、熱効率が大幅に向上していますのでガス代を節約できます。
- 立消え安全装置  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。
- 天ぶら油過熱防止機能  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
調理油の過熱を防止するために、温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止め消火します。
- 焦げつき消火機能  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
煮物などの調理時になべ底が焦げつきはじめると自動的にガスを止め消火します。(なべの材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。)
- 消し忘れ消火機能  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
万一の消し忘れのために、点火後、コンロは約120分で自動消火します。
- 異常過熱防止機能 (早切れ防止機能)  
(標準バーナ、強火カバーナ)  
炒め煮の調理、焼きもの調理など比較的温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火や強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止します。この状態が30分以上続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。
- グリル部の主な特長
- 立消え安全装置  
炎が消えたときに自動的にガスを止めます。
- 消し忘れ消火機能  
万一の消し忘れのために、グリルは約22分で自動消火します。
- フレームトランプ【グリル排気口遮炎装置】  
万一グリル庫内で炎が上がっても、フレームトランプがグリル排気口より炎があらふれ出すのを抑制し、火災を未然に防ぎます。

## ご使用前に電池ケースを確認!!

電池ケースにはアルカリ乾電池(単1形 1.5V 2個)があらかじめセットされていますので、絶縁シートを取り外してからご使用ください。



※ 絶縁シートが残った状態では点火しません。必ず取り外してからご使用ください。

安全に正しくお使いいただくために

## 必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

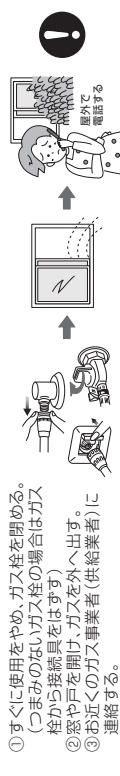
絵表示について次のような意味があります。



## 危険

### ■ガス漏れ時使用厳禁

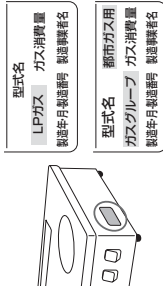
ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他のスイッチの入、切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



## 警告

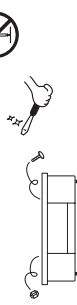
### ■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に販売した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。  
\* おわりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。



### ■絶対に改造・分解は行わない

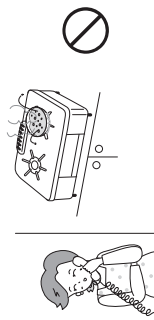
改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの恐れぬ事故や故障、火災の原因になります。



## 警告

### ■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。グリルを消し忘れと調理中のものに火がつくことがありますので注意してください。



### ■機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ベントボルト、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶や力マセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

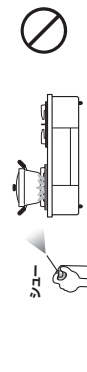
●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを踏まないでください。火災の原因になります。

### ■グリル排気口の上にタオル、ふきん、なべなどをのせたり、アルミはくでふさがれない



### ■機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

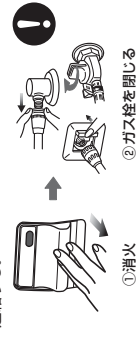


### ■異常時・緊急時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異音を感じた場合、使用中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓の閉じる（つまみのないガス栓の場合はガス栓から接続具をはずす。）

②「故障かな?」と思ったらすぐに従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。



### ■使用中、使用直後の持ち運び禁止

火がついたまま持ち運ばないでください。火災、やけどの原因になります。また、コンロ上の調理などが倒れてやけどをするおそれがあります。



### ■市販の補助具を使用しない

市販の補助具（省エネ性をうたった補助具、市販のアルミはく製しる受け皿など）を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼、点火不良のおそれがあります。また、温度センサーが動き消火したり、トッププレートやこくの変色、変形の原因にもなります。市販の補助具を使用した場合は機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。



### ■焼網は使用しない

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



# 必ずお守りください

## 警告

■点火操作、消火操作をしたときは必ず炎を確認する。また、使用後は機器のガス栓を閉じる

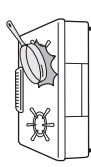
■コンロを覆うような大きな鉄板類やなべは使わない

不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとの変形、トッププレートの損傷の原因になります。



■トッププレートの衝撃を加えない  
トッププレートの上に乘らない

トッププレートが破損し、異常過熱や火災の原因になります。破損したときは、すぐに修理を依頼してください。



■コンロ使用中は身体や衣服を炎に近づけない

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。また、温度センサーが作動して炎が自動的に大きくなったり、風で炎があらわれてなべ底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。



■ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。



■ガス接続

- ① 継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない
- ② 機器の上や下を通さない
- ③ 高温部に触れない。
- ④ 折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする

使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れの原因になります。



ゴム管 (またはガスコード) をホースクリップで固定してください。(15ページ)

■接続口に汚れやごみがないようにする

ガス漏れの原因になります。

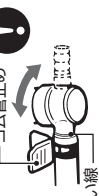
■ガスコードを使用する場合は、スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って正しく接続する

「設置について」の「ガスコード接続の場合」を参照してください。間違った接続はガス漏れの原因になります。



■ガス用ゴム管 (ソフトコード) を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めを止める

ガス用ゴム管、ガスコード以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。赤い線



## 警告

■ Grill 庫内に食品屑やぶきんがないようにする。また Grill 扉にはさんだまま使用しない

使用中に燃えることがあります。使用前に庫内を点検してください。  
\* 取り除く際はケガをしないように注意してください。



■ Grill を使用する時は、Grill 水入れ皿に必ず所定の水量の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ。Grill 使用後は必ずお手入れする

Grill 水入れ皿にたまった脂や、調理物が燃えて機器の損傷や火災など思わぬ事故の原因になります。

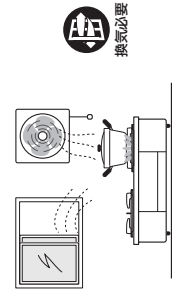


## 注意

■ガス事故防止 (換気に注意)

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

\* 自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが室内に流れ込むおそれがあります。



■脂の出る料理には、焼網の上や下にあるアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。



■ Grill 水入れ皿に水以外のものは入れない

機器の損傷や、たまった脂が過熱され燃えて火災の原因になります。また、Grill 水入れ皿が異常に過熱されて膨張し、出し入れする際に Grill 庫内に擦れて重く感じたり、ホーローを傷めることがあります。フッ素コートトッププレートの場合、変色の原因にもなります。

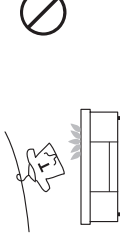


■調理以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器損傷や火災の原因になります。

■衣類 (ふきんなど) の乾燥などに使用しない

衣類 (ふきんなど) が落下して火災の原因になります。



■幼児や小さな子供に触らせない

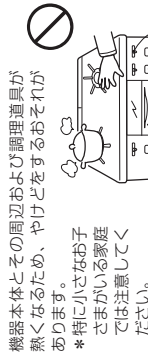
思わぬ事故の原因になります。



# 必ずお守りください

## ⚠️ 注意

- 使用中や使用直後は操作部以外は触らない



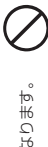
取っ手 ボタン つまみ

- 点火操作時や使用中はバーナ付近に触れたり、顔を近づけない



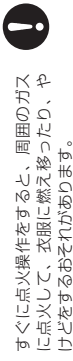
熱や炎でやけどをするおそれがあります。

- 窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない



機器焼損や作動不良の原因になります。

- 点火操作しても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする



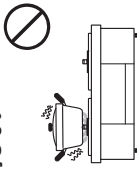
すぐに点火操作をすると、周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

- この機器の点火装置以外の方法では点火しない



やけどをするおそれがあります。

- ごときをはずして使用しない



なべなどを直接コンロにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

- やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれやなべなどの取っ手が破損する原因になります。



- 片手なべ・底が凹んだなべ・丸いなべ・底がすべりやすいなべ・径の小さいなべなどは不安定な状態で使用しない

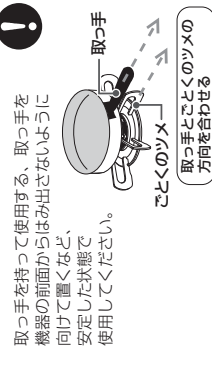
片手なべなどは、調理中になべのふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により押し上げられ、傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので必ず取っ手を持ちながら調理してください。



- 中華なべなどの底の丸いなべは、取っ手を持ちながら使用する

不安定な状態で使用すると、なべが傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。

- 片手なべやフライパンなど、重心が片寄ったなべは不安定な状態にならないよう、取っ手をごときのツメ方向に合わせる



取っ手を持って使用する、取っ手を機器の前面からはみ出さないように向けて置くなど、安定した状態で使用してください。

ごときのツメ  
取っ手  
取っ手とごときのツメの方向を合わせる

## ⚠️ 注意

- みそ汁などを温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温める

強火で急に温め直すとなべ底に流込みみそが突然噴き上がり(突沸現象)、みそ汁などが飛び散ったり、なべがはね上がってひっくり返ることがあります。特に、だし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。

### 【突沸現象について】

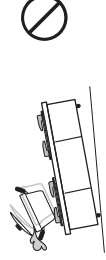
突沸現象とは、突然に沸騰する現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器を揺する、塩、砂糖などを入れる)で生じます。直火でこれらを温めるときにちびまることがあります。

この現象が調理中に起きると、なべがはね上がった、高温の液体が飛び散るため、やけどやケガをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない)
- 熟々の汁物に塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少しさましてから行う。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱する。

- 水平で安定したところに設置する

機器が傾いていると、調理中の鍋などが滑り落ちて、やけどやけがをするおそれがあります。また事故や故障の原因になります。



- グリル使用時は魚を焼ささない

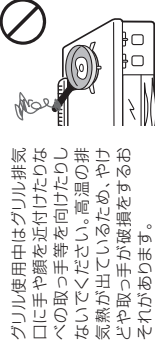
魚に火がつき機器焼損の原因になります。

- 万ー、グリル使用中に調理物や脂に火がついたときは、操作ボタンを押して消火状態にし、火が完全に消えるまでグリルを引き出さない

炎があふれ出して、火災ややけどをするおそれがあります。

\*消火後、点検を依頼してください。

- 排気口に注意



グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近づけたりなべの取っ手等々を向けたりしないでください。高温の排気熱が出ています。やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。

- グリル扉に重いものに乗せたり、強い力を加えたりしない



グリル扉がはずれ、ケガや機器破損の原因になります。

- 魚を裏返すときなどは、手や腕がグリル扉やガラスに触れないように注意する

やけどをするおそれがあります。



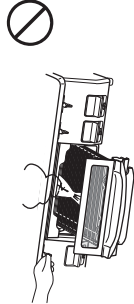
- グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

あふれた熱気により、トップブレードやつまみ・ボタンが過熱されやけどや変色・変形の原因になります。



- グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でコンロ操作をしない

熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。



## 必ずお守りください

### ⚠️ 注意

- グリル水入れ皿を持ち運ぶ際は、中の水がこぼれないように注意する



- 熱くなったグリル扉ガラスに衝撃を加えたり(グリル扉の落下も含む)キズをつけたらしない  
また、使用中や使用直後に水をかけない



- グリル水入れ皿を勢いよく出し入れしない

ゆっくり出し入れしてください。使用中、使用直後に勢いよく引き出すと水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。



- 鶏肉などの脂の多い食材を焼くときは注意する

飛び散った脂に引火してグリル庫内で調理物が発火するおそれがあります。

- グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。

### おねがい

- この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

- 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

- 初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

- トップブレードの手前を強い力で押さえないでください。トップブレードが浮き上がることがあります。

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

- トップブレードの上でHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。

### 温度センサーを正しく作動させるために必ずお守りください

この製品は全てのコンロ口に温度センサーがついています。



### ⚠️ 警告

- 温度センサーは絶対に取り外さない

火災などの原因となり大変危険です。

- 火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。とくに天がら、揚げものをしているときは注意してください。

- 温度センサーの上面となべ底やフライパンの底などが密着していないときは、使用しない

温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器故障の原因になります。なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。



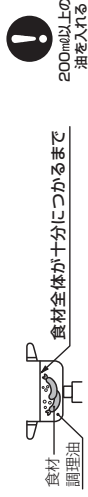
- なべ底やフライパンの底などについた異物や著しい汚れ・焦げなどは取り除く

なべ底やフライパンの底に異物や汚れ・焦げなどが付着したまま使用すると、温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器故障の原因になります。



- 揚げもの調理は食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200 ml 以上)を入れて行う

調理油の量が少なかったり、減ってしまったら、減らせたらずると、温度センサーが動かず、発火するおそれがあります。特にフライパンなどの底が広いなべで揚げもの調理をする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと発火するおそれがあります。



必ずお守りください

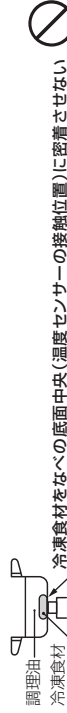
温度センサーを正しく作動させるために必ずお守りください

**警告**

## ■冷凍食材をなべの底面中央に密着させた状態で揚げものの調理をしない

なべの底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーがなべ底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。

食材は中央部を避けて置いてください。



## ■複数回使用した調理油で揚げものの調理をしない

何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。

発火が起こりやすくなる場合があります。

■揚げすぎない

豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは特に注意してください。

■耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので揚げものの調理はしない

天ぷらが油過熱防止機能が働かず、発火すること  
があります。



**注意**

## ■温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、温度センサーが故障すると温度センサーが作動しない場合があります。



## ■温度センサーがスムーズに上下に動くか確認する

また温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

汚れが付着したり、動きが悪いと温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、調理油の発火の原因になります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。



# 21世紀の中国

## ■準備と確認

- 箱から機器を取り出し、あて紙や梱包部材やテープを取り除く。  
手袋をはき、機器前面と後面の底部につかち手をかけ、持ち上げる。  
家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる。  
合っていない場合は設置をやめ、お買い上げの販売店が近くのカス事業者まで連絡する。

## ■設置場所と周囲の防火措置

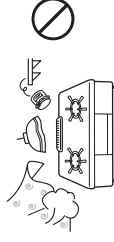
—酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。  
\*防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

**警告**

下記の条件を満たしている場所をお選びください。

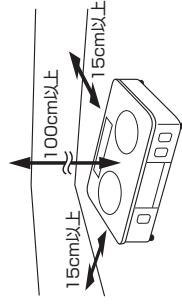
\*設置後に、機器の周囲の改装(吊り戸棚をつけるなど)を行う場合も設置基準をお守りください。

- 風が吹き込まない
- 水や熱がかからない
- 換気が良い
- 上に照明器具などの熱源製品がない
- 周囲に可燃物がない
- 上に湯沸器がない
- 落下物の危険がない
- 水平で安定している



**周囲に可燃物**(木製などの可燃性の壁、ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた壁、たななど)のある場合

- トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す
- 上記の離隔距離がとれない場合は、下記にそって適切な防火措置を行う

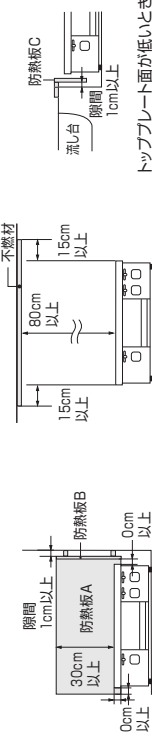


## ■防熱板について

側面、背面および流し台などの側面は図のように別売の防熱板A、Bを取付けてください。  
 上方は金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。

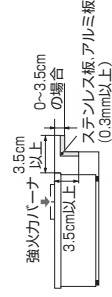
※防熱板A、Bは、壁トップブレードとの隙間が25mm必要で、取り付け方法は壁にネジ止めと  
 なります。

- 側面・背面
- 上方
- 流し台などの側面



## ■強火力バーナ側の防火措置

可燃性の調理台・流し台などが、トッププレートと同じ高さまたは低い場合でも強火カバーナ側を密着設置する場合は図のように保護してください。



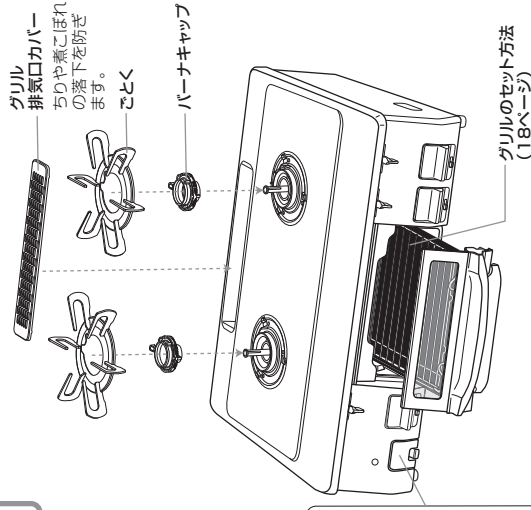
## 設置について

### ■部品のセット

- 図は、強火カバーナが右側、標準バーナが左側(左側壁設置)の機器のご紹介となっております。

#### ⚠警告

標準バーナ側を壁側に設置する  
\*壁側の火災を防止するためです。



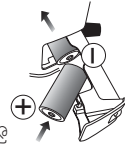
### ■乾電池のセット

(アルカリ乾電池 単1形 1.5V 2個)  
付属の乾電池はあらかじめ電池ケースにセットされています。  
絶縁シートを取り外してください。  
(1ページ)

### ■乾電池の交換方法



②乾電池の⊕側を手にして入れる



③電池ケースを奥までしっかり入れる



#### ⚠注意

■乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない

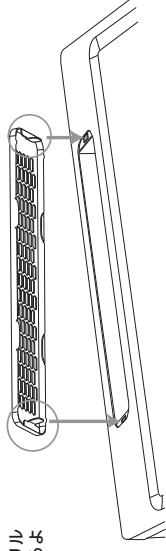
乾電池が破裂し、手や衣服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

#### おねがい

- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
- 乾電池の挿入方向を間違えないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、または違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池をご使用ください。
- マンガン乾電池を使用の場合は寿命が短くなります。
- 乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。
- ただし、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

### グリル排気口カバーのセット

裏面の突起(2か所)がグリル排気口の差し込み穴にはまるようにセットする

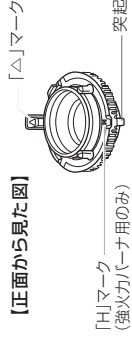


### バーナキャップのセット

バーナキャップ上面の凸部の「△」マークを裏側にし、突起を正面のくぼみにあわせてセットする

- 強火カバーナ用のバーナキャップは、手前に「H」マークを表示しています。

\*標準バーナ用と強火カバーナ用(Hマーク付)では形状が異なりますので、取り付け間違いないよう注意してください。



#### ⚠注意

浮き・傾きのないように正しくセットする  
→不完全燃焼や火災の原因になります。

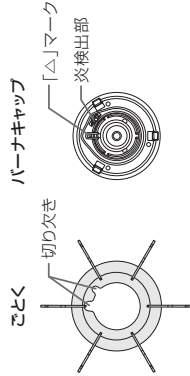


### ことくのセット

①ことくの切り欠き(2か所)をバーナキャップの凸部の「△」マークと炎検出部の真上の位置に合わせる

②ことくの裏面の突起部(3か所)をトッププレートの差し込み穴にはまるようにセットする

#### 【真上から見た図】



#### ⚠注意

浮き・傾きのないように正しくセットする

→ことくの裏面の突起部をトッププレートの差し込み穴にしっかりとめ込み、浮き・傾きのないようにセットしてください。  
ことくが浮いたまま使用すると不完全燃焼や火災、故障の原因になります。



## 設置について

### ゴム管接続の場合

<用意するもの>

- φ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本（市販品）  
（都市ガス用とLPガス用があります。  
お使いのガスに合わせてお選びください。）
- ゴム管止め2個（市販品）

- ①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
- ②機器側のゴム管口のキャップを外す（キャップは本機器専用ですので、他に流用しないでください。）
- ③両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めを止める
- ④機器の下側を通したり、高温になる部分に触れないようにホースクリップでゴム管を固定する  
（下記の「ホースクリップについて」を参照し、固定してください。）
- ⑤ガス栓を開け接続部からガスの漏れがないことを確かめ、ガス栓を閉める

### ■ホースクリップについて

安全にご使用いただくために、ゴム管（またはガスコード）を接続する際には、ゴム管（またはガスコード）を機器の下側を通したり、高温になる部分に触れないように「ホースクリップ」で2か所固定してください。

- ホースクリップにゴム管（またはガスコード）を入れてセットし、ホースクリップの先をはじめるように交差させて固定してください。

### ガスコード接続の場合

<用意するもの>

- 器具用スリムプラグ（市販品）
- ガスコード（市販品）

### ガス機器側の接続

- ①機器側のゴム管口のキャップを外す（キャップは本機器専用ですので、他に流用しないでください。）
- ②器具用スリムプラグを機器側のゴム管口に取り付ける
- ③次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで差し込む  
（器具用スリムプラグに同梱してある取扱説明書に従ってください。）



### ガス栓側の接続（ガス栓がガスステープル用であることを確認してください。）

- ①ガス栓を開けるととき  
コンセント継手を「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
- コンセント継手を差し込むとガス栓が開きます。
- ②ガス栓を開めるとき  
コンセント継手のすべりリング（白色）を手前に引く
- コンセント継手がはまるとガス栓が閉まります。

### ガスコンセントについて

- 「ガスコンセント」は、ガスコード等を取り付けると自動的に開栓し、取りはずすと自動的に閉栓します。
- フタを開ける  
フタの右端を押す
  - 取り付ける  
「カチッ」と音がするまで差し込む
  - 取りはずす  
右端にあるフタを押す

## コンロの使いかた

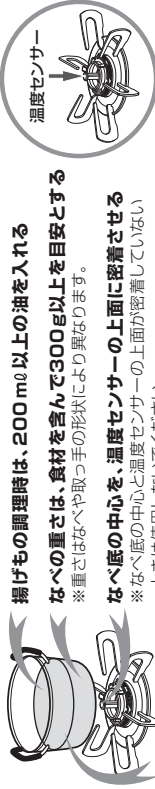
### コンロを使う前に

#### おねがい

- なべに付いた水滴はふき取ってからごくとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
- なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
- 煮こぼれに注意してください。機器の内部に浸入しますと機器故障の原因になります。
- 焦げつき消火機能が付いていても調理によってはひどく焦がついてしまう場合があります。焦がつきやすい調理の場合、弱火（最弱火力）でようすを見ながら調理してください。
- 揚げつぎやすい調理の例）水分が少なく、調味料が多い調理、カレーやシチューの再加熱
- 揚げものの調理は標準バーナの使用をおすすめします。

### ■温度センサーを正しく作動させるためにご注意ください

特に揚げものの調理時にお守りいただければ、調理油の過熱による発火を防止できなくなります。



揚げものの調理時は、200 ml以上の油を入れる

なべの重さは、食材を含んで300 g以上を目安とする

※重さはなべや取っ手の形状により異なります。

なべ底の中心を、温度センサーの上面に密着させる

※なべ底の中心と温度センサーの上面が密着していないときは使用しないでください。

### 調理に適したなべを選ぶ（下表）

なべなどの種類	揚げもの	油調理	その他の調理（煮物など）	備考
ホーロー なべ	○	○	○	温度センサーに適しています。
アルミ 鍋（多層を含む）	○	○	○	炒めもの調理時フライパンを返す動作を何度も行い、温度センサーとなべ底が密着していない時間が長くなると、途中消火することがあります。
フライパン	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
天ぷらなべ	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
土なべ	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
耐熱ガラスなべ	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
丸底中華なべ	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
打ち出しなべ	○	○	○	揚げものの調理には適していません。
焼網	○	○	○	消火したり、トッププレートの変色等の原因になります。

## コンロの使いかた

使用中、自動的に弱火になったときは ⇒ **【異常過熱防止機能が働いています】**

ゆめもの調理・焼きもの調理など比較的高い温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火⇄強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止する機能です。この状態が30分以上続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。

●から焼きなどでなべの温度が急速に上昇すると、安全のため加熱途中で火力をいったん弱くし、異常高温に達しないよう火力を自動制御します。

●なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火（もとの火力）に戻ります。

※故障ではありません。

※自動的に火の大きさが弱火から強火へ変化します。やけどのおそれがあるため、顔や手や衣服を炎・バーナー付近には近づけないように注意してください。

※自動消火した場合は、なべなどが相当熱くなっていますので、やけどなどに注意してください。

※再使用する場合は、操作ボタンを消火位置まで戻し、少し時間をおいてから点火操作をしてください。

【ワンポイント】 ゆめものなどの調理をする場合には、先になべを加熱し、自動的に弱火になったときが食材の入れ頃です。

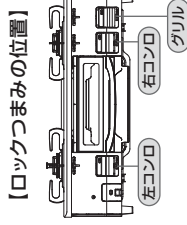
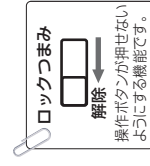
## コンロの使いかた

### 1 準備

①操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

②ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

※ロックされたまま操作ボタンをムリに押したり、使用中につまみを動かすと故障の原因になります。



### 2 点火

①操作ボタンをゆっくりいっばいまで押す

●ボタンはいっばいまで押さないと点火しません。

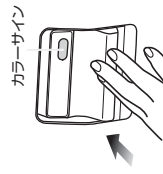
●バチバチと音が出て点火します。（コンロとグリル同時に放電）

●標準バーナーの火力調節つまみは、弱火側にある場合、「強火」の方向へ自動的に移動します。

●強火カバーナの火力調節つまみは「中火」の方向へ自動的に移動します。

②手を離しても点火していることを確認する

●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押しあわるときは「赤」に、押していないときは「黒」に変わります。



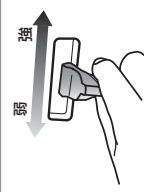
### 3 火力調節

炎を見ながらつまみをゆっくり動かす

●使用中もときどき燃焼を確認してください。

●強から弱へ急速につまみを動かしても、火力はゆっくり変化します。

※コンロ使用中、センサー温度が高くなると、自動的に強火・弱火を繰り返す、なべなどの異常過熱を防止する機能が作動します。



### 4 消火

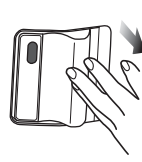
①操作ボタンを押す

●消火を確認してください。

②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックし、ガス栓を閉める

●ロックつまみは小さなお子様へのいたずら防止にご利用ください。

※燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。



## グリルの使いかた

グリルを使う前に

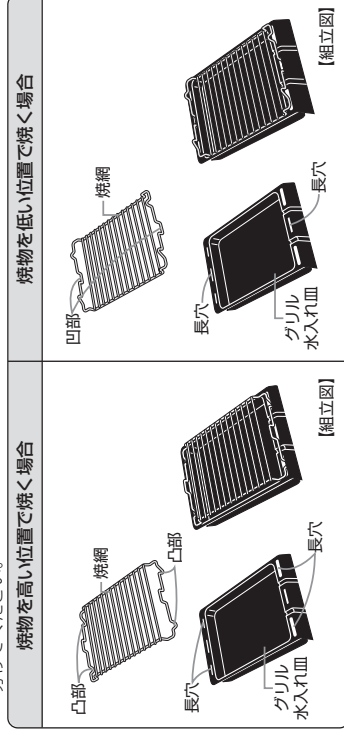
はじめて使うとき

- ①グリル水入れ皿にコップ1杯（約200 ml）の水を入れる
- ②約15分、空焼きする … 庫内の油を焼ききるため煙や臭いが出て異常ではありません。

### ■グリルのセット方法

●次のように焼網の凹凸部をグリル水入れ皿の長穴にセットしてください。

※焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさ、お好みの焼き加減により使い分けてください。



※イラストは取っ手を取り外した状態で説明していますが、通常は取っ手を取り付けただでセットしてください。

### ■グリル水入れ皿の取り出しかた

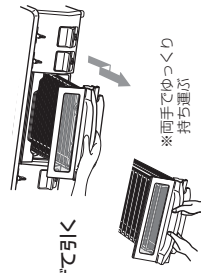
中の水がこぼれないようにゆっくりと引き出す

取り出すときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く

※最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。

止まらずに勢いよく出てきてしまいます。

※持ち運びするときは、取っ手を両手でしっかりと持ってください。



### ■焼きかたのポイント

●焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。

●お好みにより塩をふっていただく、焼き色が濃くなります。

●魚のヒレなど上げやすい部分は厚めに塩をふるアルミ箔で包んでおくことがたが少なくなります。

### おねがい

●グリル使用后、グリル水入れ皿を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。

●冷凍された食材はしっかりと解凍してから調理してください。解凍していないと火の通りが悪くなり、上手に焼けない場合があります。

## グリルの使いかた

### グリルの使いかた

#### 1 準備



**注意**  
グリル庫内（バーナ付近）にアルミはくなどのゴミが付着していないことを確認する  
→ 点火不良や思わぬ事故の原因になります。

① 操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

② ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

③ 焼網をセットする

● 焼網は表裏で高さが異なります。焼物の種類、大きさ、お好みの焼き加減により使い分けてください。

④ グリル水入れ皿にコップ1杯（約200 ml）の水を入れる

● 焼けて使用するときはそのつど脂を取り除き、水を入れてください。

⑤ グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

● グリル扉がしまっていることを確認してください。

低い位置



高い位置



#### 2 点火

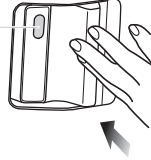
① 操作ボタンをゆっくりいっばいまで押す

● カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押しあわるときは「赤」に、押していないときは「黒」に変わります。  
● バチバチと音がして点火します。確実に点火させるため手を離しても約7秒間放電し続けます。（コンロとグリル同時に放電）

② バーナ全体に点火したことを確認する

③ 3分ほど予熱をしてから材料をのせる

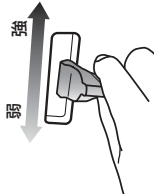
カラーサイン



#### 3 火力調節

材料にあわせて火力を調節する

● 裏返した面はまえより早い時間で焼き上がります。  
\* 火力の目安は全開（強）ですが、お好みにより弱火に調整もできます。  
弱火にした際、炎の見た目の大きさはほとんど変化しません。



#### 4 消火

① 操作ボタンを押す

● 消火を確かめてください。

② ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

③ ガス栓を開める

④ グリル水入れ皿のお手入れをする



**お手入れには  
台所用中性洗剤を  
お使いください。**

**おねがい**

● ジンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。また、印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷つけます。  
● 汚れや煮こぼれはそのつどお手入れしてください。そのまましておくと、汚れが落ちにくくなり早く傷みます。

## 点検とお手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
- 煮こぼれや鍋をひっくり返すなど、機器の内部に多量の煮汁などが入った場合、機器の故障につながるおそれがあるため、点検をおすすめします。（有料）
- で使用上支障がない場合でも、安心してより長くご使用いただくために年に1回程度の定期点検をおすすめします。（有料）



**注意**

■ 機器を水につけたり、水をかけたりしない  
不完全燃焼・故障の恐れがあります。



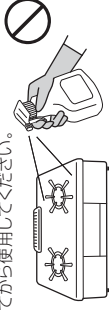
■ スプレー式の洗剤はスプレーで直接  
洗剤を機器にかけない

機器内部に洗剤が入ると、部品の作動不良や、腐食の原因になり、安全性を損なう可能性があります。使用の際はスポンジや布に含ませてから使用してください。



■ 点検・お手入れの際は必ず  
手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



**おねがい**

- 点検とお手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。（機器が冷えるまで時間がかかります。）
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 「故障かな？」と思ったら「を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店がお近くの当社にご相談ください。お客様自身の修理は絶対にしないでください。

**点検のポイント** \* 点検は常時行ってください。

機器のまわりに可燃物等はありませんか？	機器のまわりに可燃物や障害物がないようにしてください。
各部品は正しくセットされていますか？	バーナキャップ、ごとくなど左右前後正しくセットされているか確認してください。
ゴム管は正しく接続されていますか？	赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで止めてください。古くなるなどひび割れたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。
汚れていませんか？	煮こぼれやグリル使用後などで機器が汚れているときはお手入れしてください。
ガス臭くありませんか？	ガス栓を開け、ゴム管の接続部からガスの臭いがないことを確かめてください。
乾電池は消耗していませんか？	コンロまたはグリルの操作ボタンを押してください。 おしらせサインが点灯したときは新しい乾電池と交換してください。

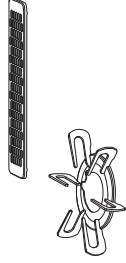
**お手入れのしかた**

- 機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
- 工具を使用しての分解は絶対にしないでください。次のページのお手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。異常作動や発火をしてけがの原因になります。
- お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。（「設置について」参照）

## 点検とお手入れ

### ■ ごとく、グリル排気口カバー

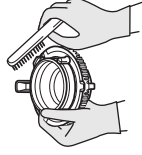
汚れたときは台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る  
 ＊グリル排気口カバーをはずして、機器内部に落ちた野菜くずなどを取り除いてください。



### ■ バーナキャップ

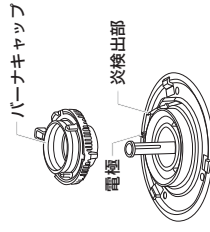
炎が不ぞろいになったときは、**あなやみぞをブラシ**や**はり金等先の細いものなどで掃除**する

- ＊目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。
- 裏側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのまま使いになれます。
- お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。



### ■ 炎検出部、電極

汚れや水気が付いたときは**やわらかい布でふき取る**  
 ＊汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

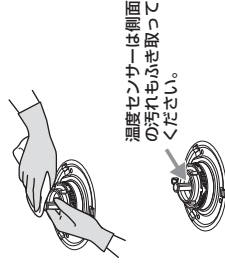


#### おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。  
 故障の原因になります。

### ■ 温度センサー

温度センサーが汚れたときは**温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る**  
 ＊汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。



温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

### ■ トッププレート

汚れたときは**乾いた布で汚れをふき取る**

- 汚れの落ちにくいときは台所用中性洗剤でお手入れし、乾いた布で水気をふき取ってください。

#### フッ素コートトッププレートについて (IC-800FLの場合)

- お手入れにはスポンジや布などのやわらかいものをお使いください。ナイロンたわし、金属たわし、みがき粉などの固いものは表面をキズ付けるので使わないでください。
- スポンジでもとれないしつこい汚れは乾いた布や柔らかい紙をお使いください。
- 中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナー、漂白剤などのアルカリ性洗剤)は使わないでください。フッ素コートをしたため、シミや変色の原因になります。
- 汚れたままにしておくとシミになることがあります。
- 長期間のご使用によりフッ素コートが変色することがありますがフッ素の効果には影響ありません。

### ■ グリル水入れ皿、グリル扉、焼網

お使いのたびに**台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る**

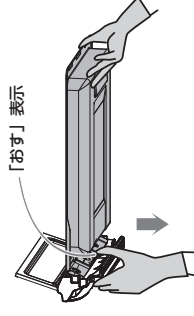
- ＊グリル水入れ皿は汚れたままお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。
- グリル水入れ皿と取っ手は取りはずしてお手入れすることもできます。

#### おねがい

- グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。

#### 取りはずしかた

「おす」を↓の方向に押しはさず



#### 取り付けかた



- ① ツメをグリル水入れ皿にはめ込む
  - ② グリル取っ手をおこす
- 「おす」表示の部分がはまり、固定されます。

# 乾電池の交換について

使用時におしらせサインが点灯したときは、乾電池が消耗していますので、新しいアルカリ乾電池（単1形1.5V 2個）と交換してください。（「設置について 乾電池の交換方法」参照）  
交換せずにそのままにしておくと使えなくなります。

- 乾電池が消耗してくると安心・安全機能が作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火していても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続けられ点火していますか故障の原因となりますのでおやめください。
- 乾電池がすっかり消耗したときは、おしらせサインの点灯はしません。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

現象	原因	処置方法	参照ページ
おしらせサインが点灯する	ガス栓の開き不十分	ガス栓をいったん閉じしてから全開にする	17/19
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	13/23
	乾電池または電池ケースの取り付けが悪い	正しくセットする	13
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	5/15
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	5/15
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	9/21
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14
	ごとのセット不良	正しくセットする	14
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
	点火操作が不適切	操作ボタンをいったん押しっぱなしで押しこむ	17/19
おしらせサインが点滅する	炎検出部・電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	21
	グリル庫内にアルミはく等のゴミが付着している	付着しているゴミを取り除く	-
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	-
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	10/16
	安心・安全機能が作動した	安心・安全機能が作動したときの処置方法を参照する（サインは15分間点滅）	25
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	13/23
	安心・安全機能が作動した	安心・安全機能が作動したときの処置方法を参照する（サインは15分間点滅）	25
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	9/21
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14
	ごとのセット不良	正しくセットする	14
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	5/15
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	5/15
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14

次のような場合は故障ではありません。

故障ではない場合	理由
点火・消火のときに「ポッ」という音が出る	点火時、消火時に「ポッ」という音が出ますが、異常ではありません。 燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。 ※万が一ガス臭い場合は、使用を停止してください。
使用中「シャー」という音が出る	火力を調節するときの機器の音で、異常ではありません。
コンロを使用「カチッ」という音が出る	グリル使用時にコンロを使用すると、焼物の部分などが燃えて炎の色が変わることがありますが異常ではありません。
赤色の炎で燃える	加温器を使用すると水分に含まれるカルシウムにより炎が赤くなる場合がありますが、異常ではありません。
使用中、弱火になる／火力が変化する	なべなどの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。（17ページ参照）
コンロを使用中、強火⇔弱火をくり返す	なべの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。（17ページ参照）
再点火してもすぐ弱火になる	再点火しても、グリル扉は取りはずせるようになっています。（17ページ参照）
グリル扉がはずれた	お手入れのために、グリル扉は取りはずせるようになっています。（17ページ参照）

## よくあるご質問

Q：調理中に勝手に火力が小さくなったり、大きくなったりする

A：なべなどの異常過熱を防止する機能が働いたためで、故障ではありません。（17ページ）  
なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火（もとの火力）に戻ります。



※この状態が30分以上続いた場合や、弱火状態でも温度センサーがさらに高い温度になったと感知した場合は自動消火します。

Q：点火操作しても火がつかない  
操作ボタンの横にある「おしらせサイン」が点灯している

A：乾電池が消耗しています。（23ページ）  
乾電池を交換してください。（13ページ）  
乾電池の交換の目安は約1年です。

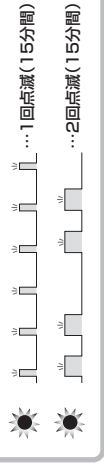


# 故障かな？と思ったら

## ■安心・安全機能について

次のような安心・安全機能が  
付いています。

### おしらせサイン



安心・安全機能	部位	機能説明	処置方法（消火に気付いたときは…）
立消え 安全装置	コンロ グリル	風や煮こぼれなどで炎が消えた ときに自動的にガスを止めます。	すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてく ださい。炎が消えてからガスが止まるまでし ばらく時間がかります。再点火するときは 周囲にガスがなくなるのをまってください。
天ぷら油 過熱防止機能		調理油が過熱による発火をする 前に自動消火します。	操作ボタンを消火状態にしてください。再点 火する場合は、少し時間を置いてから（油の 温度が適温になるまで）そのまゝお待ちいた いた後、点火操作してください。 * おしらせサインの点滅は約15分後、または 再度点火操作したときに止まります。 * なべや調理によっては途中で消火する場合 があります。
おしらせサイン 2回点滅	コンロ	煮物等の調理中になべ底が焦げ つき始めたら、自動消火します。	操作ボタンを消火状態にします。再点火時は 更に焦げつきやすすくくなりますので、ようすを 見ながら調理してください。 * おしらせサインの点滅は約15分後、または 再度点火操作したときに止まります。 * なべや調理によっては途中で消火する場合 があります。
消し忘れ 消火機能	コンロ グリル	万一の消し忘れのために、点火 後、コンロは約120分、グリル は約22分経過すると自動消火し ます。また高温状態で温度変化 のないとき（使用中、強火や弱火 を繰り返しているとき）は約30 分経過すると自動消火します。	操作ボタンを消火状態にします。 グリルを連続して使うときは、一旦消火して、 グリル水入れ皿に水を追加し、しばらく待っ てから再度点火してください。 * おしらせサインの点滅は約15分後、または 操作ボタンを押して消火状態にしたときに 止まります。
おしらせサイン 1回点滅			

# 保管とアフターサービス

## 保管（長期間使わないとき）

- ① ガス栓を閉め、ゴム管をはずす
- ② ごみ・ほこりが入らないようにビニールやテープ等でゴム管口をふさぐ
- ③ 汚れを取り除く（「点検とお手入れ」参照）
- ④ 乾電池を取りはずす
- ⑤ 箱またはビニール袋等に入れて、湿気やほこりの少ないところに保管する

## ■点検・修理を依頼されるとき

「故障かな？」と思ったら一度確認していただき、それでも  
直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスセン  
ターまでご連絡ください。パロマサービスセンターは24時間  
受付いたしますので、ご利用ください。  
なお、アフターサービスを申しつけのときは右記の内容を  
お知らせください。

- 1.ご住所・ご氏名・電話番号
- 2.現像(できるだけ詳しく)
- 3.品名・器具名(銘板表示のもの)
- 4.ご購入日・ガス種
- 5.道順・目標

修理についての お問い合わせは	パロマサービスコールセンター <b>0120-193-860</b>	受付時間：24時間修理受付
商品について お問い合わせは	パロマお客様相談室 <b>052-824-5145</b> 〒467-8585 名古屋市瑞穂区柳町16番23号	受付時間：平日 8:30～18:00 (土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1-1	011-726-2822	011-736-7374
東北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目黒2-0-10	022-239-1848	022-238-0838
関東サービスセンター	〒135-0023 東京都江東区平野2丁目2-4/パロマ深川ビル	03-5646-1060	03-5646-1068
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃町6-2-3	052-824-5050	052-824-5385
大阪サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20/パロマワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西郷島3丁目8-12	082-262-8341	082-263-2400
九州サービスセンター	〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目2-32	092-472-0924	092-471-8400

\* 住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

## ■ガスの種類が変わるとき

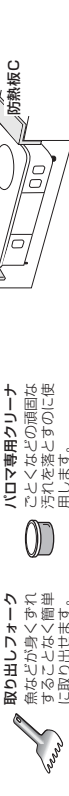
ご贈答、転店等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売  
店かお近くの当社までご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

## ■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、5年間保有しております。

## ■別売部品のごあんない

次のような別売部品を用意しております。下記は代表例です。  
防熱板は「設置について」を見て、取り付けかたを確認してください。  
詳細はお買い上げの販売店かお近くの当社までおたずねください。



部品名	希望小売価格 (税抜価格)	部品名	希望小売価格 (税抜価格)
防熱板A	¥3,800	すべり低減ごとくセット(2ヶ入り)	¥1,800
防熱板B	¥3,500	取り出しフオーク	¥950
防熱板C	¥2,300	パロマ専用クリーナー	¥1,200
バックガードA(59cmガスステープル用)	¥2,800	ねずみガードA	¥7,800

※すべり低減ごとくは、なべのすべりにくさを優先させたざらつきのあるごとくです。ご使用方法によりなべ底などに  
傷がつくことがあります。  
※すべり低減ごとくセットは他品でもお買い求めいただけます。  
※ねずみガードAを取り付けると、バックガードはご利用できません。  
※2014年9月現在の価格です。価格・仕様については変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。